



なぜ、いま、バイオマスプラスチック？（生物由来資源）

バイオマスプラスチック（木のプラスチック）の給食トレー

なぜ、いま、バイオマス（生物由来資源）のプラスチックなの？

私たちの便利な暮らしの多くは、化石資源（特に石油）に頼っています。

電力・ガソリン・灯油などのエネルギー、プラスチック・化学肥料などは、大部分が石油からつくられています。現在、プラスチックをつくるため、エネルギーに次いで、多くの化石資源が使われています。

しかしながら、限りある化石資源は枯渇しつつあり、その取り合いのため、深刻な国際的な争いごと（戦争）も起きています。

また、その利用（最終的には燃焼）により、大気中の二酸化炭素が増大し、地球温暖化など、深刻な地球環境問題を引き起こしています。

このため、いま、化石資源を代替することができるバイオマスの利用が、大変重要であると考えられるようになってきました。

これは、バイオマスが、太陽・大気・水・大地・海などの恵みから、毎年、作り出されるものであり、枯渇することがない資源だからです。

また、バイオマスの利用は、地球温暖化の原因となる大気中の二酸化炭素を増大させない資源だからです。

この給食トレーは、木を原料としたプラスチックからつくられたものです。



この粕殻（もみがら）から、いろいろな製品が生まれるなんてビックリ！

食べられなくなったお米をマテリアルに！

『お米は外国に依存しない、純国産バイオマス資源です。』

そんな訳で、お米からプラスチック樹脂を作りました！  
米率70%ドライブレント用の樹脂です。



例えば、ゴミ袋やレジ袋、イベントバックなどの袋に変身します。（米率35%）



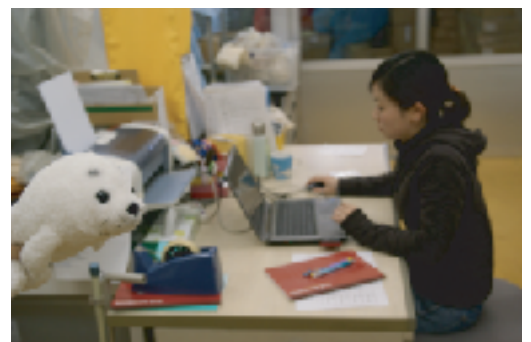
（ゴミ袋）



（レジ袋）



（イベントバック、資材袋）（厚皮）



バイオマスプラスチックの工場を見学